

質 疑 要 旨

小松 実議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 住まいの再建支援について</p> <p>(1) 応急仮設住宅の入居期間延長について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 復興状況等を踏まえ、どのような方針で更なる入居期間の延長に取り組むのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 不安を抱える被災者に対し、一日も早く期間延長の通知をしていただきたいと考えるがどうか。</p> <p>(2) きめ細かな支援のため、被災者の継続的な実態把握が必要と考えるが、今後の住まいの再建意向調査の実施についての考えを聞く。</p> <p>(3) 被災者生活再建支援金の加算支援金について、制度から取り残される被災者を生まないため、申請期限の延長や制度の周知、伴走支援にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(4) 家賃無償化の拡大により、既に既存公営住宅に入居している被災世帯も支援の対象となるのか。</p>	<p>知 事 復興・復興推進部長 土 木 部 長</p>
<p>2 「旅して応援、能登」団体旅行応援事業について</p> <p>(1) 現時点における申請団体数、催行件数及び人数、クーポン発行額と利用率、加盟店舗数と地域分布について、どのように把握し、評価しているか聞く。</p> <p>(2) これまでの実績による効果をどのように総括し、7月以降の継続実施の必要性をどのように判断しているのか。</p> <p>(3) 地元旅行会社などからは、事業についてどのような声があがっており、指摘された課題にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(4) クーポンの利用対象の拡大と加盟促進に取り組んでいくべきと考えるが、所見を聞く。</p> <p>(5) 観光の本格回復まで継続的な切れ目のない支援として、どのように発展・継続させていくのか、国への予算要望も含めた財源確保に向けた考えと併せて聞く。</p>	<p>知 事 文化観光スポーツ部長</p>

この質疑要旨は、6月3日午後6時35分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>3 ドローン産業の育成について</p> <p>(1) KDDIとの連携によるドローンポート整備について、災害時のみならず、平時利用も含めた常時運用型インフラとして、能登全域へ展開してはどうかと考えるが、所見を聞く。</p> <p>(2) 加賀市の国家戦略特区の特例措置や実証成果を能登地域へ展開し、ドローン産業の育成と社会実装を加速させてはどうか。</p> <p>(3) 「自律飛行型ドローン利活用促進会議」を、国の支援獲得や規制緩和提案、企業誘致までを担う「ドローンを核とした復興の司令塔」へと機能強化すべきと考えるが、浅野副知事の見解を聞く。</p> <p>(4) ドローン産業をのど里山空港周辺を核に復興産業モデルとして構築してはどうか。また、関係省庁や民間企業などに働きかけ、国の支援獲得に向けたトップセールスを行うべきと考えるが、決意を聞く。</p>	<p>知 事 酒井副知事 浅野副知事 商工労働部長</p>
<p>4 いしかわ里山里海サイクリングルートと復興ツーリズムについて</p> <p>(1) ナショナルサイクルルート指定を見据え、本県のサイクルツーリズムの推進に関する課題をどのように認識しているのか。また、地域主導による取組を県全体に広げるべきと考えるが、所見を聞く。</p> <p>(2) 全庁横断の「サイクリングルート推進室」を設置し、戦略立案から実行、進捗管理までを一元的に担う体制を構築すべきと考えるが、所見を聞く。</p> <p>(3) サイクルトレイン導入に向けた現在の状況と今後の取組について聞く。</p> <p>(4) サイクリングルートを活用し、「復興」「防災」をテーマとした教育・体験型プログラムを構築し、復興ツーリズムとして国内外へ発信していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 富山県と連携したルート接続や共同プロモーションにより、日本海側広域サイクルルートの形成を進めるべきと考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 企画振興部長 文化観光スポーツ部長 土 木 部 長</p>

この質疑要旨は、6月3日午後6時35分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>5 夜間中学「県立あすなろ中学校」について</p> <p>(1) 生徒募集及び広報について</p> <p>ア 教職員がどの程度業務を担っているのか。</p> <p>イ 専門性を持つ外部団体や民間事業者への委託を含め、必要な予算を確保しながら取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 通学する生徒への通学費補助制度の創設を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 将来的には、昼間部の設置や昼夜選択制の導入なども検討し、多様な学びのニーズに対応すべきと考えるが、見解を聞く。</p> <p>(4) 現任教職員の研修の場だけでなく、将来的には教員を志望する大学生の教育実習やインターンシップの受け入れの場としても積極的に活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 将来的には国の「学びの多様化学校」の指定を目指し、市町が設置を検討する学校との共存・連携を視野に入れながら、多様な学びの拠点として発展させていくべきと考えるが、所見を聞く。</p>	<p>教 育 長</p>

この質疑要旨は、6月3日午後6時35分に取りまとめたものです。